

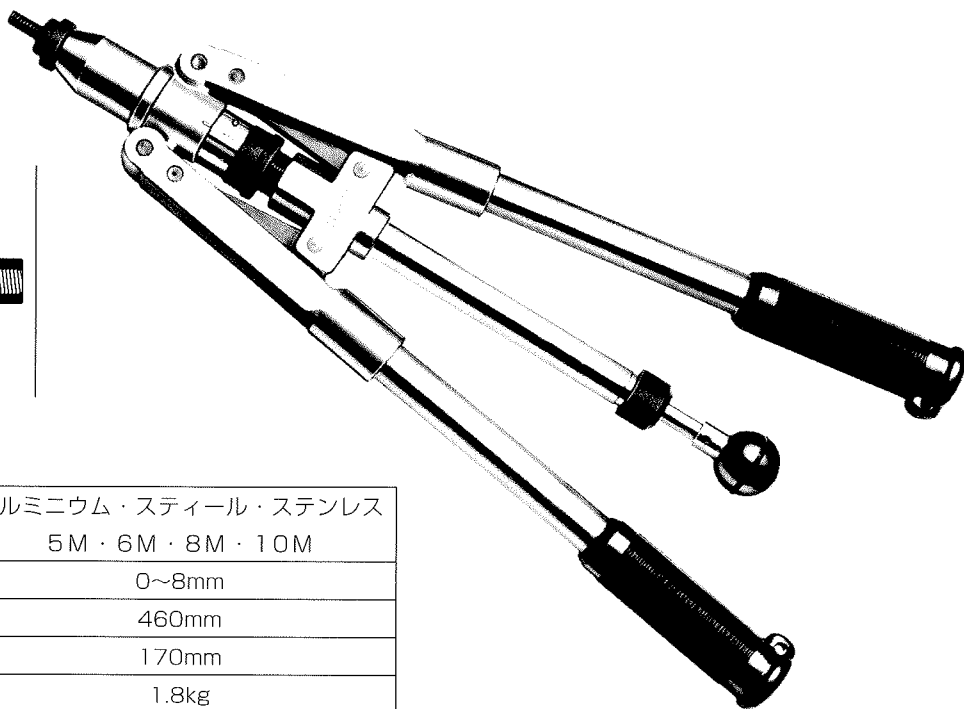
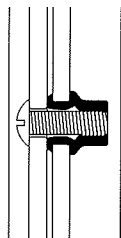


強力型

ハンドナッター HN-010

取扱説明書

このたびはエビ印ハンドナッターHN-010をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用に際し本説明書を必ずよくお読みいただき正しくご使用ください。
お読みになった後も大切に保管してください。



〈仕様〉

使用範囲	アルミニウム・スチール・ステンレス 5M・6M・8M・10M
ストローク	0~8mm
全長	460mm
全巾	170mm
重量	1.8kg

※製品の仕様、デザインは予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みいただき、十分理解されたうえで正しく使用してください。
- ここに示した注意事項は **⚠警告**、**⚠注意** に区分していますが、それぞれの意味は下記の通りです。
 - ⚠警告**：誤った取扱いをしたときに使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意
 - ⚠注意**：誤った取扱いをしたときに使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみが発生が想定される内容のご注意
- なお、**⚠注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

ハンドナッターについて

注 意

1. フレームとハンドルの間で手などをはさまないように注意してください。けがの恐れがあります。
2. ストローク調整は確実に行ってください。
 - ストロークが短かすぎるとカシメ不足になり、エビナットが抜ける恐れがあります。
 - ストロークが長すぎるとエビナットのネジ山破損になり、ネジ強度が落ちたり、工具の破損を招く恐れがあります。ここに記載している「エビナットかしめしろ表」は当社品のみ適用可能です。他社品の場合は適合いたしませんので、ご注意ください。
3. 高所での作業の際は、落下に十分注意してください。
 - 下に人がいないことをよく確かめてください。材料や、本機、エビナット等を落としたときなど、事故の原因となります。また、ご自身にも安全ベルトをつけてください。
4. 無理な使い方や誤った使い方は避けてください。思わぬ事故やけがにつながります。
 - ハンドルにパイプ等を差し込んで使用しないでください。
 - ハンマーで叩いたり、ハンマーの代わりに使用しないでください。
5. ご使用前に各部の損傷がないかをチェックし、損傷がある場合は修理に出してください。けがの恐れがあります。
6. 整理、整頓、清掃された場所でお使いください。
 - 散らかった場所は事故やけがの恐れがあります。
7. 無理な姿勢で作業しないでください。転倒等けがの恐れがあります。
8. 本機の手入れは注意深く行ってください。
 - 付属品の交換や部品交換は取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
 - 握り部は常に乾いたきれいな状態とし、油やグリスが付かないようにしてください。けがの恐れがあります。
9. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。非常識な行動や軽率な行動をとると事故やけがの恐れがあります。
10. 本機の修理は当社にお出してください。
 - 修理は必ずお買い求めの販売店、または当社にお出してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
11. 本機の改造をしないでください。事故やけがの恐れがあります。

エビナットについて

警 告

1. 施工条件をよく考慮してご使用ください。
 - 安全に能率よく作業するために、適正かしめ板厚、下穴径は、当社指定寸法を厳守してください。指定寸法外ですと抜け、脱落等の事故を起こす場合があります。
 - カタログ記載の強度は破壊強度ですので、ご使用の際は安全率を十分に考慮してください。
2. 作業前に必ず、工具の取扱説明書をよくお読みください。
 - 工具が正規ストロークに設定されていないと、エビナットの性能がでない場合があります。
3. 作業者以外、作業場に近づけないでください。
 - 子供の手の届かない場所に保管してください。

ご使用前の準備

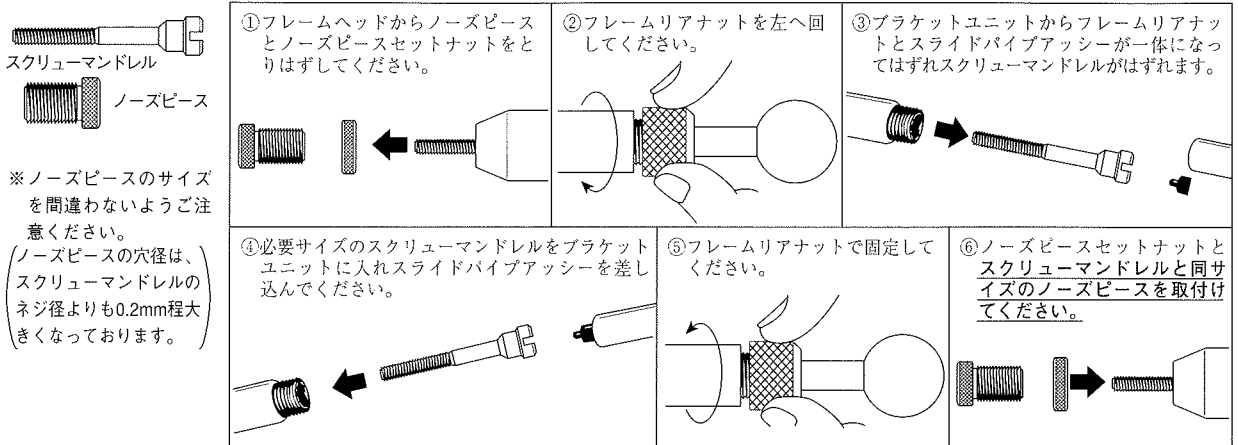
1. エビナットを選んでください。

ご使用するエビナットのサイズを選んでください。

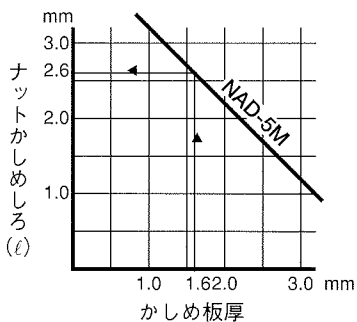
2. ノーズピースとスクリーマンドレルを交換してください。

ご購入いただいた時、ナッターには6M用のノーズピースとスクリーマンドレルがセットされています。

ご使用になるエビナットが6M以外の場合は使用サイズに合ったノーズピースとスクリーマンドレルに交換してください。



3. 適正かしめしろを求めてください。



ご購入のエビナットにエビナットかしめしろ表がついています。

この表より適正かしめしろ(ℓ)を求めてください。

(例) ご使用エビナット⇒NAD-5M
かしめ板厚 ⇒1.6mm の場合

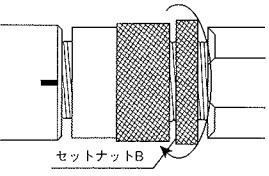
左図のように適正かしめしろ(ℓ)は2.6mmとなります。

＜ご注意下さい＞ 他社のナットを御使用の場合は適正かしめしろが各社異っておりますので御注意ください。

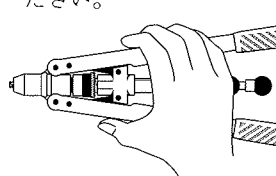
4. ナッターのストロークを調整してください。

準備3で求めた適正かしめしろ (ℓ) の値からナッターのストロークを調整します。

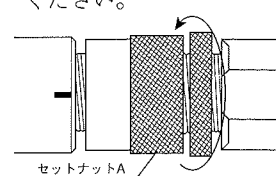
① セットナットBを左へ回してゆるめてください。



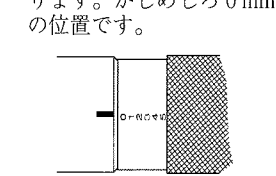
② 2本のアームがブラケットに当たるまでせばめてください。



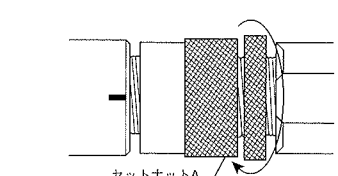
③ そのままセットナットAを右いっぱい回してください。



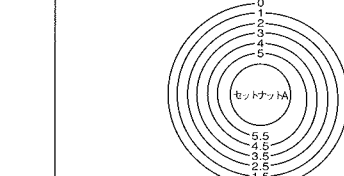
④ セットナットAは本体の線と目盛0が合っただけで止まります。かしめしろ0mmの位置です。




⑤ セットナットAを左へ回し (ℓ) を適正かしめしろの値にあわせて下さい。



⑥ セットナットAを左へ $\frac{1}{2}$ 回転するごとに0.5mmのストロークが出ます。



$\ell = 2.6\text{mm}$ の場合、セットナットAを $2\frac{1}{2}$ 回転(=2.5mm)左へ回し2.5mmの目盛にあわせ、さらに0.1mm左へ回すのね。



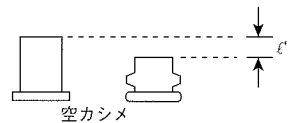
5. ストロークの補正(微調整)をしてください。

適正かしめしろはエビナットやかしめ板厚が変るたびに測り直してください。



- ① エビナットをワークに通さずに空かshめてください。
☞ 使用方法を参照して下さい。
- ② かしめたエビナットとかしめる前のエビナットとの差 = かしまりしろ (ℓ') を測定してください。(右図)

※通常 (ℓ') の値は適正かしめしろ (ℓ) より小さくなります。その差が0.5mm以上ある場合はストロークの補正をおこなってください。



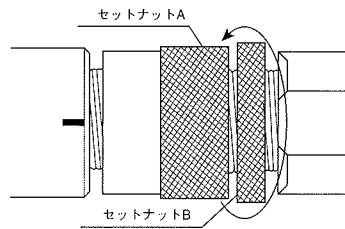
(例) 適正かしめしろ (ℓ) = 2.6mm かしまりしろ (ℓ') = 2.1mm の場合その差は 0.5mm なので セットナットAをあと $\frac{1}{2}$ 回転(0.5mm)左にまわします。

- ③ 補正できましたら再度空かshめをして適正值が出たか確認して下さい。

6. ストロークを固定してください。

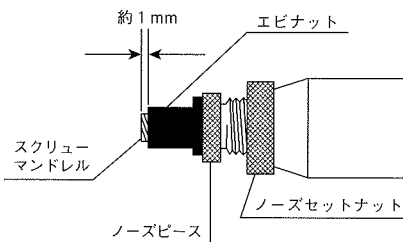
ナッターのストローク補正ができましたらセットナットBでセットナットAを固定して下さい。

これで準備はすべて完了です。



7. ノーズピースのセット位置を調整してください。

《ストロークの調整後に行なってください》



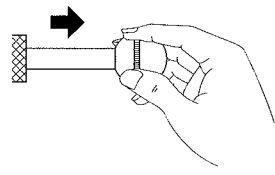
- ① ノーズピースセットナットをゆるめてください。
- ② アームを全開した状態で左図のようにエビナットの全長よりスクリーマンドレルが約1mm出るようにノーズピースを調整してください。
- ③ ノーズピースセットナットで固定してください。

☞ ご注意下さい ☜

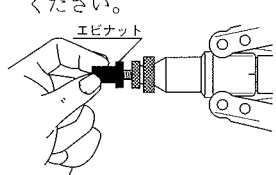
ノーズピースのセット位置が正しくないとエビナットがきっちりセットされなかったり、スクリーマンドレルから一回で抜けなかったりします。

作業手順

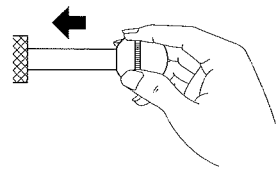
①ニギリダマをひっぱってください。



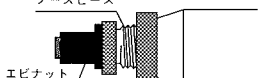
②スクリューマンドレルにエビナットをあてがってください。



③ニギリダマを押し込んでください。

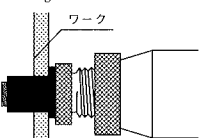


④エビナットがセットされます。
ノーズピース

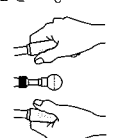


この時、エビナットがノーズピースに接しているか確認してください。接していない場合は〈準備5〉を再チェックしてください。

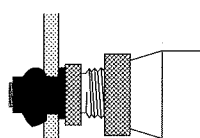
⑤ワークの下穴にエビナットを差し込んでください。



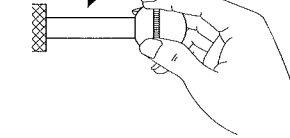
⑥フレームユニットに当たるまでアームを閉じてください。



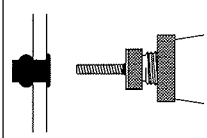
⑦エビナットがワークにかしまります。



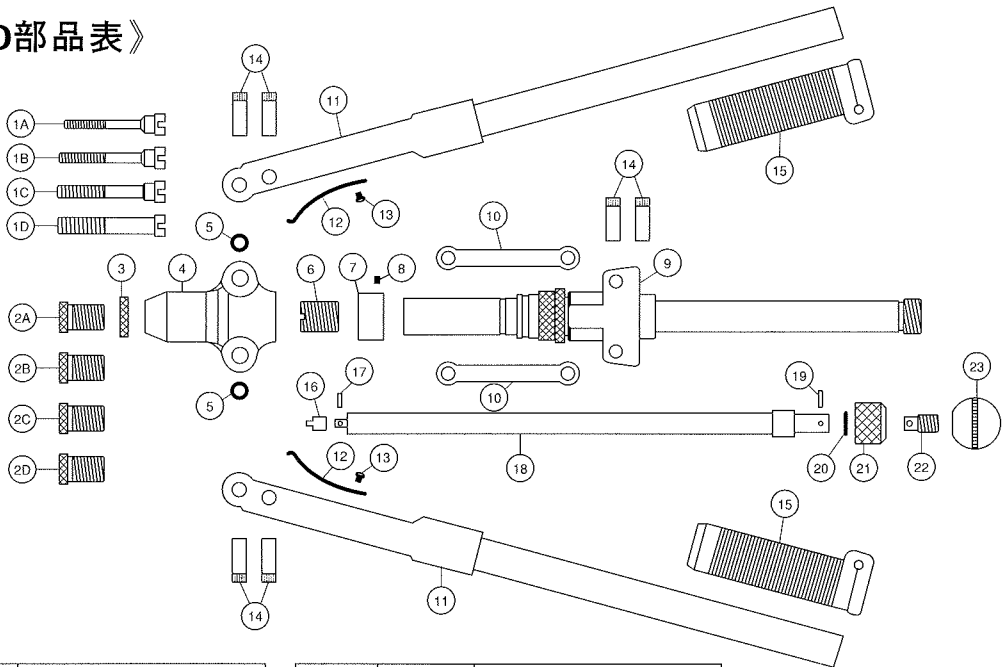
⑧完全にかしまりましたらニギリダマをひっぱってください。



⑨エビナットからナッターが抜けます。



《HN-010部品表》



照合NO.	コードNO.	部 品 名
1-A	12806	スクリューマンドレル M5
1-B	12326	スクリューマンドレル M6
1-C	12330	スクリューマンドレル M8
1-D	12331	スクリューマンドレル M10
2-A	12805	ノーズピース M5
2-B	12320	ノーズピース M6
2-C	12327	ノーズピース M8
2-D	12328	ノーズピース M10
3	12321	ノーズピースセットナット
4	12342	フレームヘッド
5	12314	カラー
6	12340	フレームフロントピース
7	12338	セットスリーブ
8	12318	ソケットスクリュー 3×4
6~9	14529	ブラケットユニット

照合NO.	コードNO.	部 品 名
10	12312	リンク
11	14521	アームユニット
12	12316	アームバネ
13	11926	P ナベネジ M3×6
14	12313	取付ピン
15	12319	グリップ
16	11931	コネクター
17	11932	スプリングピン 2×8
16~18	14528	スライドパイプユニット
19	10787	スプリングピン 3×10
20	10274	O リング P-10
21	11938	フレームリアナット
22	11939	ニギリコネクター
23	11945	ニギリダマ
16~23	14532	スライドパイプアッシー

保守点検のポイント

- ① 使用前に、スクリーマンドレルのネジ部に油を付けますと、寿命が大巾にのびます。
- ② 回転部、スライド部に油をさして下さい。
- ③ スクリューマンドレルのネジ部がいたんできますとエビナットの挿入、及びカシメ後のボルトの挿入が、スムーズに出来なくなりますので新品と交換して下さい。
- ④ スクリューマンドレルのネジ部にカスが溜ってきましたら、ブラシ等でカスを落して下さい。

ISO9001・ISO14001 認証取得

株式会社 ロブテックス

コールセンター

TEL(0729)80-1111 FAX(0729)80-1166

営業部・大阪	〒579-8051	東大阪市瓢箪山町9-10	TEL.(0729)80-1111	FAX.(0729)80-1166
東京営業所	〒175-0082	東京都板橋区高島平2-6-4	TEL.(03)3550-3671	FAX.(0729)80-1166
名古屋営業所	〒462-0805	名古屋市北区八竜町1-40	TEL.(052)915-0431	FAX.(0729)80-1166
福岡営業所	〒812-0015	福岡市博多区山王1-7-9	TEL.(092)431-0395	FAX.(0729)80-1166
事務所		札幌・盛岡・仙台・宇都宮・伊勢崎・横浜・静岡・金沢・兵庫・高松・岡山・広島		
海外ブロック		International Marketing Dept.	TEL+81(729)81-7466	FAX+81(729)81-9420

ホームページ <http://www.lobtex.co.jp/>

No.05Y-1010 CO